

【本件リリース先】

平成 30 年 6 月 8 日(金)15:00

(資料配付)

文部科学記者会・科学記者会、原子力
規制庁記者会(仮称)、福島県政記者ク
ラブ、いわき記者クラブ、いわき記者会



平成 30 年 6 月 8 日
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
廃炉国際共同研究センター

**平成 30 年度第 1 回福島リサーチカンファレンス(FRC)の
開催について(取材案内)**

東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所の廃止措置では、原子力分野に限らず様々な専門分野の研究者が横断的に協力し、課題解決に向けて取り組むことが必要です。

このため、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 廃炉国際共同研究センターでは、廃炉関連の基盤研究を取り扱う「福島リサーチカンファレンス(FRC)」を開催し、国内外の知見を活用することとしています。平成 27 年度に第 1 回目を茨城県で開催し、平成 28 年度からは福島県で継続的に開催しています。

今年度の第 1 回目は、廃棄物管理に関する研究開発を進めていく上で必須となる、廃棄物の分析に関する技術開発を中心に、最新の知見に関する意見交換を行う「廃棄物の分析技術開発に関する研究カンファレンス(FRCWM2018)」を開催いたします。

つきましては、下記のとおり取材の御案内をさせていただきます。

記

1. 開催概要

- (1) 名 称 :平成 30 年度第 1 回福島リサーチカンファレンス(FRC)
「廃棄物の分析技術開発に関する研究カンファレンス(FRCWM2018)」
(FRCWM2018 : Fukushima Research Conference on Development of
Analytical Techniques in Waste Management)
- (2) 日 時 : 平成 30 年 6 月 19 日(火) 13 時 15 分～17 時 00 分
平成 30 年 6 月 20 日(水) 9 時 30 分～16 時 10 分
- (3) 場 所 : 富岡町文化交流センター 学びの森 2階大会議室
(福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚 622-1)
- (4) プログラム : 別紙参照
- (5) 言語 : 本カンファレンスの使用言語は英語となります。
通訳はございませんので、予め御承知おき下さい。

2. 取材申込 : 取材を希望される方は、別添取材申込書にて 6 月 15 日(金)15 時まで
FAX でお申し込みください。

【本件に関する問合せ先】

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
福島研究開発部門福島研究開発拠点
福島事業管理部 成田 典智 TEL 024-524-1060 FAX 024-524-1069

プログラム

6月19日(火)

○開会挨拶

(13:15-13:20)

東京大学 長谷川 秀一

○Waste management at the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station (13:20-13:50)

(福島第一原子力発電所で発生する廃棄物の管理)

東京電力ホールディングス(株) 佐橋 憲史

○セッション1 Property of accident generated waste (13:50-15:20)

(原子力施設での事故廃棄物の特性)

1) Waste Characterisation at Sellafield

(セラフィールドにおける廃棄物の性状把握(仮題))

セラフィールド社 S. Brown

2) Similarities and differences in behavior of Chernobyl-derived and Fukushima

Daiichi-derived radionuclides in the environment

(チェルノブイリ及び福島第一事故により環境に放出された放射性核種の相違点に関する研究(仮題))

福島大学 A. Konoplev

休 憩 (15:20-15:30)

○セッション2 Analytical research activities of 1F wastes (15:30-17:00)

(福島第一における廃棄物の分析に関する研究の現状)

1) Fukushima waste characterization - Up to now -

(これまでに得られている廃棄物の分析データ)

原子力機構 駒 義和

2) Development of Modelling Estimation Method for Radioactive Waste Inventory

Generated at the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station

(福島第一事故廃棄物の解析的インベントリ推算方法の開発)

電力中央研究所 杉山 大輔

6月20日(水)

○セッション3 Advanced analytical technique (Chemical separation, Facility)

(9:30-11:45)

(分析技術の高度化(化学分離、分析施設))

1) Adsorption Properties of Radionuclides on Zeolites and Stable Solidification

(ゼオライトへの放射性核種の吸着特性および安定固化)

ユニオン昭和 三村 均

2) Okuma analysis and research center
(大熊分析センターの分析に関する概要)

原子力機構 Do Van Khoai

3) Nuclide Separation and Actinide Analysis for Uranium-Dioxide-Containing Materials
(ウラン酸化物含有物質のための核種分離・アクチノイド分析)

長岡科学技術大学 鈴木 達也

ポスター発表及び昼食(11:45-14:15)

○セッション4 Advanced analytical technique (Mass spectrometry) (14:15-15:45)
(分析技術の高度化(化学分離、分析施設))

1) Development of resonance ionization mass spectrometry and its application to
radioactive isotope analysis

(レーザー共鳴イオン化質量分析法の開発と放射性同位体分析への応用)

名古屋大学 富田 英生

2) Rapid radiochemical separation and ultra-sensitive mass spectrometric analysis of
actinides

(アクチノイドの高速放射化学分離と超高感度質量分光分析(仮題))

放射線医学総合研究所 鄭 建

○Wrap up (15:45-16:10)
(総合討論)

以上

別添

平成 30 年 月 日

平成 30 年度第 1 回福島リサーチカンファレンス(FRC)

<取材申込書>

送付先:国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構
福島研究開発部門 福島研究開発拠点 福島事業管理部 行
(FAX 024-524-1069)

御社名 _____
(連絡先電話番号 _____)

取材者氏名

| 所属 | 氏名 |
|----|----|
| | |
| | |
| | |

- (1) 使用言語は英語です。通訳はありません。
- (2) 取材を希望される方は、本取材申込書を御記入の上、6 月 15 日(金)15 時までに FAX でお申し込みください。